

## 表装裂の取り合わせと掛軸作品との関係性についての考察 ～表装裂デジタルアーカイブの開発と活用～

宮本 真未・熊崎 康文 (岐阜女子大学)

### 1. 掛け軸オンラインシミュレーター

西洋の絵画作品に額縁がつきもののように、日本の書画は古くから掛軸として多く表装されている。掛軸は実用性や調度品としての美しさにおいて優れたものである。裂の取り合わせから表装形式に至るまで様々であるが、表装に注目して鑑賞されることは多くない。表装の存在意義と今後の課題について調査する中で、京都表具協同組合(以下組合)が手がけるWebサイト「掛け軸オンラインシミュレーター【表装裂愉しむ】」<sup>1)</sup>に出合った。

このサイトはオンライン上で書画を軸装する際の、掛軸の各部位に使用する表装裂を自由に選んでデザインできることが特徴である。

掛軸の部位である、一文字や中廻し、天地の各部分の裂を、色や裂の種類、紋様の計600点の裂の画像から選択でき、軸木も25点の中から選択できる。その組み合わせは裂だけでも約2億通り以上が可能である。このシミュレーターは表装裂デジタルアーカイブの活用事例の1つである。

### 2. 表装裂デジタルアーカイブ

組合は1989年から「表装裂」3巻を出版した。出版に際して1500点の表装裂をフィルムカメラで撮影し、1巻あたり約200点、合計約600点を書籍に使用した。書籍発行に4割が使用されたが、その後約30年間活用されなかった。フィルムの劣化が心配となった組合は、デジタル化の検討を行った。2020年「新型コロナウイルス感染症対策危機克服会議<sup>2)</sup>」によって策定された京都府コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金の公募申請に応募し、フィルムのデジタル化事業が採択され<sup>3)</sup>、デジタル化に着手した。

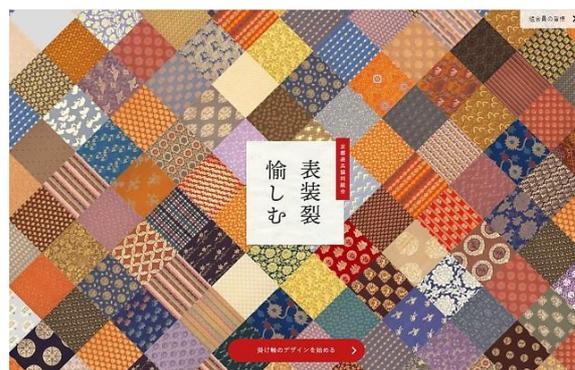


図1 掛け軸オンラインシミュレータートップ画面

デジタル化した表装裂のデータを利用し、オンライン上で表装の取り合わせ作業ができる「掛け軸オンラインシミュレーター【表装裂愉しむ】」を制作、一般公開することを目的の1つとした。

組合では以下の①～③を公開目的としたが、組合理事の田中氏に教育利用として④をつけ加えることを提案し、賛同を得た。

- ①コミュニケーションツール・データベースとして活用する
- ②視覚的な提案が可能であり、営業ツールとして活用する
- ③新しいファン層の拡大を目指す
- ④教育利用で伝統文化理解に資する

教育基本法にあるように、「伝統や文化に関する教育」は重要視されている。例えば、児童生徒が自分の書画作品をオンラインシミュレーターで表装することによって、わが国の伝統的な表装や和柄の文化理解に資することができれば、将来にわたって、掛け軸の文化を継承できることにつながる事が考えられる。

表装裂デジタルアーカイブ事業の展開により、以下の実績が生まれた。

- ①表装裂ポジフィルムデジタル化により、約1,500枚の表装裂ポジフィルムを高精細デジタルデータ化し、3台のハードディスクに収録、永久保存できるようにした。
- ②表装オンラインシミュレーターの制作及びWEB公開により、デジタルデータ化した画像を用いてWEBサイト上で掛け軸のデザイン（表装の取り合わせ）ができる表装オンラインシミュレーターを完成させ、2021年2月10日に一般公開した。

さらに、京都表具協同組合では以下の計画などが実施された。

- ・SNSの活用及び情報発信力の強化として、京都表具組合のInstagramによる発信開始（2021年12月）、「表装裂愉しむ」のInstagram開設（2022年2月）
- ・京表具オンラインショップ（ECサイト）の開設（2022年2月）及びオリジナル商品（道具・材料・素材）の開発と販売

### 3. 掛け軸の未来

掛け軸オンラインシミュレーターによって、誰でも表装の取り合わせができるだけでなく、視覚的な提案も可能とした取り組みは、伝統文化のDX化の試みと考えられる。田中氏の言葉である「主役は本紙、表具は脇役」が具現化され、掛け軸の文化が未来に継承されることを願う。

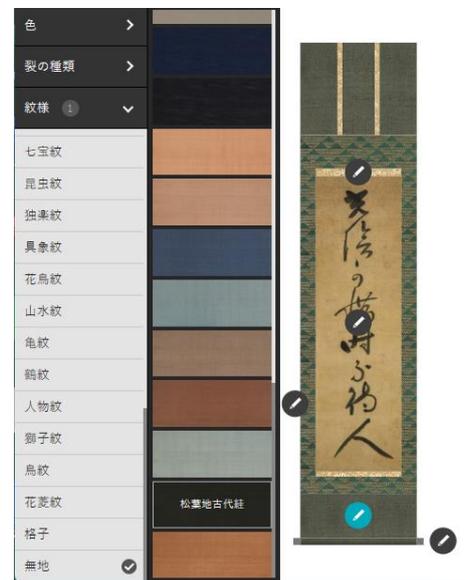


図2 掛け軸をシミュレートした例

<sup>1</sup> 掛け軸オンラインシミュレーター【表装裂愉しむ】，京都表具協同組合，2021.2.10から一般公開，<https://hyosogire.com/>

<sup>2</sup> コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金，京都府商工労働観光部産業労働総務課，<https://www.pref.kyoto.jp/sanroso/bussinessmodel-gaiyou.html>（2022.2.18閲覧）

<sup>3</sup> 表装裂デジタルアーカイブ事業，コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）令和3年2月26日，<https://www.pref.kyoto.jp/sanroso/documents/5kyotohyougu.pdf>